

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <http://www.senshu-u.ac.jp/shinomaki/>

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

2018年4月
創立30年
を迎えます

新学長に尾池守教授



石巻専修大学長の尾池守理工学部教授が就任した。坂田隆学長の任期満了に伴い、2月24日に開かれた学校法人専修大学理事会で選任された。就任は4月1日付で、任期は2019年3月31日までの3年間。就任にあたり尾池新学長が抱負を語った。

教育の強化 改革の推進

石巻専修大学は社会知性の開発と学生を中心にすえた大学運営を基本にしています。本学で学ぶ在学生をきちんと育て、一人前の学士として社会に送り出すことが使命です。全学共通のポリシーとして、輩出したい人物像を「社会の諸問題に、自分の役割を自覚して取り組むために、生涯にわたって学び続けることができる人」と定めまし

た。学生一人ひとりの目的を成就するために、知を育成する教育を行うことで、課題に対して問題

教育効果が期待できます。さて、東日本大震災から5年が経過しました。被災者だけでなく、修学意欲はあるものの、経済的な理由で大学進学が困難な生徒がいます。この

点を抽出し、学んだ専門分野の手法を用いて考察し判断できる学生を育てたいと考えます。本学は、3学部7学科を擁し、学問分野では理工学、工学、経営学、文

学、教育学、社会学から成っています。幅広い学問分野の魅力を学科間で相互に活用するために、平成29年度の導入を目指してカリキュラムの見直しを図ります。学科の枠を超えた広がりのある学びは、一層の

今後ますます大きな取り組みを推進していきたいです。皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

(おいけ・まもる) 1954年群馬県伊勢崎市生まれ。62歳。82年東京工業大学大学院理工学研究科生産機械工学専攻博士後期課程修了。工学博士(東京工業大学)。科学技術庁航空宇宙技術研究所、東北大学流体科学研究所助教授を経て、2002年石巻専修大学理工学部教授。入学試験委員会委員長、理工学研究科長を歴任。専攻は流体力学、専門は航空宇宙工学。共著「トライボロジーの解析と対策」(03年、テクノシステム)などの著書に加え、多数の論文を発表している。



▲ 275人が新たな一歩を踏み出した入学式
▶ 誓いの言葉を述べる遠藤さん(右)と猪又さん

2016年度入学式

希望を胸に

2016年度の石巻専修大学入学式が4月4日、本学体育館で行われた。希望を胸に式に臨んだ新入生は理工学部112人、経営学部112人、人間学部46人の学部生合わせて272人と、大学院生3人。保護者や家族、来賓、教職員の祝福に顔をほころばせ、大



新入生オリエンテーションセミナー



日本三景の一つ、松島で行う恒例の新入生オリエンテーションセミナーが4月7日から1泊2日の日程で、ホテル松島大観荘(宮城県松島町)で開催された。写真。大学生活にスムーズに

んでほしい」として、ボキ、大学院総代の猪又直ランティア団体のリーダーに活動の本質を学ぶ「復興ボランティア学講座」の受講や、1年次から「宮城県の遠藤楓さん(人座)の受講や、1年次から猪又さんは「大学院生はさらに研鑽し、切磋琢磨することにより社会の



緊張した面持ちの新入生

進展に寄与する役割を担う。私は我が国の全企業の97%を占めるファミリービジネスの研究を行い、自らの企業経営に役立てたい」と研究への熱意と決意を表明した。遠藤さんはほおを紅潮

させ「喜びと期待とともに不安もあるが、志を胸に新生活を送りたい。東北として日本を支えていく一員であることに自覚を持って、日々努力します」と宣誓した。閉式後、新入生ガイダンスや学科ごとに分かれて教員紹介や学生・保護



新専任教員

新たに2人が専任教員となった(4月1日付)。各教員の氏名、職種、主な担当科目は次の通り。(敬称略)

【理工学部】

亀山 充隆
教授「情報システム概論」「情報電子工学実験」



劉 忠達
助教「コンピュータ概論」「情報電子工学実験」



理工学研究科長
島田教授が就任

大学院理工学研究科の新研究科長に島田了八教授が就任した。就任は4月1日付で任期は1年。

島田了八(しまだ・りょうはち)工学博士。山形大学工学部機械工学科卒業。東北大学助教授を経て、1989年本学助教授。96年教授。理工学部機械工学科の学科主任教授、工作センター長などを歴任。主な担当は「熱力学」「応用熱力学」。



▲ 活躍した小野さん

南東北大学野球春季リーグ戦開幕

惜しくも1勝1敗

南東北大学野球春季リーグ戦が4月9日に開幕した。硬式野球部は第1週を終え、惜しくも1勝1敗のスタートとなった。

リーグ戦は6チームによる2試合総当たり制で、最も勝率の高いチームが優勝となる。硬式野球部は昨秋、リーグ戦を同率1位で終えたが、優勝決定戦に敗れ2位。雪辱を誓い、今季に臨んだ。

日本大学工学部との開幕戦は、押野弘嗣さん(経営2・山形県天童高)・佐藤大和さん(経営3・山形県米沢中央高)の両投手が踏ん張り、2失点に抑えるも打

線がつながらず、0-2で惜敗した。

しかし続く第2戦目は、先発したルーキーの菅野一樹さん(経営1・宮城県聖和学園高)の好

投もあり、7回を0封。打線も終盤につなかりを見せ、小野侑宏さん(経営3・宮城県聖和学園高)の2安打2打点の活躍などもあり、6-1で快勝した。

【今後の日程】

▽第3週・東北公益文科大学戦(4月23・24日、福島県楡葉町・Y&Mならはスタジアム)▽第4

石原ゼミ・新メニュー

どぶ漬け唐揚げ

試験販売好調 新名物に



▲ 見た目にも香ばしい鶏むね肉と銀鮭の「どぶ漬け唐揚げ」



▲ PRに販売にアンケート依頼にと大忙しの石原ゼミ生＝3月10日、東京・豊島区のサカガミ駒込店で

大ヒットしたサバだしラーメンをはじめ、食文化で石巻市飯野川地区の活性化に取り組む経営学部・石原ゼミ(指導・石原慎士教授)が3月10、13日、東京都内のスーパー2店舗で新メニュー「どぶ漬け唐揚げ」の試験販売とアンケートを行った。

甘辛いタレにとっぷりとした飯野川商店街飲食店の漬け込み、中まで味を染み込ませるのが「どぶ漬け」。飯野川地区ではプロイラーの生産が普及した1960年代から、甘みを効かせた甘辛い鶏の唐揚げが特別な日の定番料理として親しまれてきた。サバだしラーメンで行列ができるようにな

った飯野川商店街飲食店の新たな名物にしたい、とゼミ生は意気込む。

試験販売は石巻市内の道の駅「上品の郷」に続き2回目。今回は石原ゼミが提供したレシピをもとに、専大OBが経営するスーパー「サカガミ」の駒込店(豊島区)と清瀬店(清瀬市)が調理を

担当。鶏むね肉ともも肉、宮城県産銀鮭の唐揚げ(いずれも100g×198円)を、ゼミ長の伊藤大亮さん(経営4、宮城県仙台育英高)ら2、4年次のゼミ生6人が「大学生が開発した石巻の唐揚げです」と試食を勧めながら販売した。

ふっくら黄金色の唐揚げは「肉が軟らかい」「衣まで甘みがある」と試食した客のほとんどが購入するほどの人気を博した。4日間の総販売量は鶏むね肉89kg、もも肉16kg、銀鮭19kgと連日ほぼ完売。「冷めてもおいしい」と翌日また買いに来る客もいて、ゼミ生を喜ばせた。

成功の要因は、関東の客の舌に合うようにタレを調整したこと。地元本来的味付けは甘みがかなり強いいため、今回は砂糖ではなくみりんを使用。地元や県内でのアンケート

トから地域に合った味を模索した。具材の切り方や漬け込み時間、揚げ時間や油の温度を試行錯誤し、昨年12月には唐揚げで売り出し中の大分県中津市や宇佐市の専門店を「視察」するなど研究に余念がない。

手ごたえを得た伊藤さんは「今年度中に飯野川の食堂でデビューさせたい」と笑顔。指導する石原教授は「宮城県は養殖銀鮭の出荷量が日本一。国産銀鮭のおいしさや安し、感謝の言葉が贈られた。」

3月に定年退職された望月勝美元理工学部教授(在職27年)、内田満元経営学部教授(在職27年)の2人に名誉教授の称号が授与された。

4月4日、本学会議室で開催された授与式では、尾池守学長から称号記が手渡され、尾池学長と日高義博理事長からこれまでの多大な貢献に対し、感謝の言葉が贈られた。

本学の名誉教授号授与者は20人となった。

指定サークルに入部した37人を紹介する。有望新人の活躍に注目してほしい。＊氏名に続き、出身高校、学部、ポジション・種目・階級、主な戦績の順。戦績は特筆すべきものだけ記載

保護者向け進学サポートフェア

大学進学を控えている受験生の保護者を対象とした「保護者のための進学サポートフェア」保護者視点の大学選び」を開催する。入学試験に向けた心構えや入学準備の費用、奨学金などについて、保護者の視点で解説。また、学業成績が優秀にもかかわらず、経済的な理由で本学への進学が困難な受験生に授業料の半額相当額を4年間にわたって免除する新たな奨学生制度「進学サポート奨学生」についても説明する。

▽日時 4月24日(日) 13時30分～15時30分▽場所 石巻専修大学2号館2101教室▽プログラム Ⅱ講演「大学進学に向けてこれからの8ヶ月―受験生の親として―」／個別相談など



久保匠平さん

阿部真樹さん

2人に学会表彰

3月に理工学部を卒業した阿部真樹さん(機械工学科)と、久保匠平さん(情報電子工学科)の2人が学外の専門学会から表彰された。

阿部さんは「日本機械学会山賞」を、久保さんは「日本金属学会・日本鉄鋼協会奨学賞」をそれぞれ受賞。

両賞は、人格・学業の面で優れた学生を顕彰するもので、卒業に際して授与される。

2人には3月20日の学位記授与式終了後、各学科主任から賞状と副賞が手渡された。

指定サークル

有望新人37人を紹介

硬式野球部

亀井 駿(古川学園高・理工)内野手
阿部 健人(北越高・経営)外野手
荒木丈太郎(桐生第一高・経営)外野手
栗屋 麗(加茂暁星高・経営)内野手
石井 竜助(光南高・経営)内野手
伊藤 信弥(米沢中央高・経営)内野手
太田 貴己(日本文理高・経営)内野手
大友 健史(柴田高・経営)外野手
折山 稔将(静岡大成高・経営)内野手
門屋 龍征(聖和学園高・経営)外野手
川綱 壽晃(会津農林高・経営)投手



▶ 菅野一樹



▶ 羽賀和也

河野 佑太(聖和学園高・経営)外野手
菅野 一樹(聖和学園高・経営)投手
菅野 大樹(柴田高・経営)内野手
小泉 武也(万代高・経営)内野手
佐藤 康輔(古川学園高・経営)投手
澤内 夏希(仙台工業高・経営)内野手
篠澤 健人(涌谷高・経営)捕手
杉山 諒(米沢中央高・経営)外野手

高野 大貴(一関学院高・経営)内野手
高橋 直輝(泉松陵高・経営)外野手
丹波 朋也(仙台商業高・経営)投手
千葉 克己(大東高・経営)外野手
千葉 浩太(泉松陵高・経営)投手
中野 大成(柴田高・経営)内野手
羽賀 和也(松商学園高・経営)投手

選抜高校大会出場

引地 亮(涌谷高・経営)内野手
南 瑞樹(開志学園高・経営)捕手
南館 憲(柴田高・経営)投手
矢口 颯(山形城北高・経営)外野手
山田 茂和(仙台北城南高・経営)外野手
吉田 翔(聖和学園高・経営)内野手

弓道部

大澤 慶太(盛岡誠桜高・理工)
坂本 麻衣(角館高・経営)
佐々木 颯(岩出山高・経営)

女子競走部

西島 百香(蕪山高・理工)
3000m9分50秒19
庄司 琴美(聖和学園高・経営)
800m2分19秒05



▲ 西島百香



▲ 庄司琴美